地域密着型サービス　運営推進会議　報告書

**施設名　：　　グループホーム出東ララ（第3回）**

**施設種類：　　認知症対応型共同生活介護**

**日　時　：　　令和6年8月　9日（金）　　14：30～16：00**

**会場　　：　　グループホーム出東ララ　会議室**

**出席者**

|  |  |
| --- | --- |
| **出雲市役所　職員** | **1名** |
| **高齢者あんしん支援センター　職員** | **1名** |
| **地域住民代表** | **2名** |
| **その他（理事長、ララ事務長、ララ施設長）** | **3名** |

**ご意見、感想の回答**

**◎出雲市**

**・ヒヤリハット報告・事故報告についてですが、薬はほとんどの方が服用されていますか？**

**また、薬のヒヤリハットとはどういうケースでしょうか？**

**⇒全員の方が服用されています。**

**ララでは薬を服用するまでに３回のチェックが入ります。薬局から来たものをその日のケースにセットする**

**時、そのセットがきちんとした場所にセットされているかチェックし、服用直前に職員２名でダブルチェック**

**を行い、服用です。そのようにチェックを行っていても、床に落ちていたり、コップの底に貼りついていたり**

**というケースがありました。**

**◎あんしん支援センター**

**・職員募集中とのことですが、朝のパートさんが入られ、お盆明けに１名入られるという事ですが、あと何人**

**位の職員さんが必要ですか？**

**⇒夜勤ができる常勤職員さんがあと１名来て下さるといいと思います。**

**◎地域代表**

**・身体拘束についてですが、センサーマットは身体拘束になるんでしょうか？転倒することを思えば**

**使った方が良いと思いますが。**

**また、センサーマットについてはご家族も了承済みでしょうか？**

**⇒センサーマットは身体拘束にはなっていませんが、一応使い方によっては拘束の一部になるという事で**

**本当にセンサーマットが必要か、使い方を間違っていないか。という事を検討する機会をユニット会の**

**中で設けています。**

**ケアプランに挙げており、ご家族様にも了承頂いております。**

**センサーマットの使い方によっては。と言いましたが、本当に紙一重な所があると思います。転倒リスクの**

**高い方が歩き出そうとされる時に、職員の手があれば付き添いを行いますが、そのような時にちょうど誰**

**かの介助中で手が話せない時等に歩こうとされると、〇〇さん、ちょっと待ってください！ちょっと座わっ**

**てて～。と言う事もあります。施設内研修で高齢者虐待防止、身体拘束防止について研修を行った時に**

**職員から、これも身体拘束になりますよね。という意見もたくさん出ました。**

**仕方がないケースもありますが、何も思わずただ淡々と仕事としてするよりは、これは拘束にあたるのか**

**どうか。と疑問を持ちながら取り組み、ユニット会等で話し合って行くこととしました。**

**◎地域代表**

**・職員募集はどのように行っておられるのでしょうか？**

**⇒ハローワークに出していますが、あまり反応はないです。職員の知人や知り合いからの紹介で就業される**

**ケースが多いです。**

**◎法人理事長**

**・先日、近隣の企業様からのご好意で災害時支援に関する協定を交わしました。先日も大きな地震があった**

**り、何が起こるか分からない事になってきました。**

**地域代表⇒地震もですが、水害もですね。ここの地域は何もなくても少しづつ沈下しているという事ですから**

**ララ管理者⇒去年の大雨の時はコミセンが避難所になっていましたが、避難される方はおられましたか？**

**地域代表⇒隣の地域のコミセンにはおられたそうですが、こちらの地域のコミセンには避難者は０でした。**

**それで、本当に災害時にコミセンへ避難するか？という意見があがりました。本当にコミセンで**

**良いのか…現在、市の方と協議中ですのでまた、分かり次第お伝えします。**

**＊皆さんと地域の防災について話し合う。（昔の南海地震の時の被害状況について、コミセンの現在の位置**

**について、水害があったら何が一番怖いのか⇒内水氾濫について、消防団の編成、災害時特別の消防団が**

**できることについて等）**